

大分県 中津市立永岩小学校 全校生

【身近な容器で栽培しよう！】

～ 観察から環境問題への広がり ～

■ 実践のきっかけ：

昨年、露地栽培により台風等の影響を受けたため、今年は路地だけでなく、容器栽培にも取り組んだ。容器は、軽量で、かつ費用がかからないよう、学校にあるものを再利用することにした。

■ 実践概要：

- 1) ペットボトル（2Lと3L）を切って針金を通し、注ぎ口を下にして、ハンギングにする。軽量化を図るため、底石の代わりに発砲スチロールを砕いたものを入れてから土を入れ、苗を植えた。通常は、フタを外しておくが、教室に持ち込んで観察をする時はフタをして水がこぼれないようにした。
- 2) 培養土や肥料の袋を再利用し、底に数箇所穴を空け、底石の代わりに砕いた発砲スチロールを入れ、鉢代わりにした。朝顔の鉢にこの袋を入れると、底が安定しやすく、土をたくさん入れることができる。



